

事前質問に対する回答

質問者	資料番号 及び頁数	質問内容	回答
坂本委員	資料1 18ページ	⑦社会参加の状況の1行目 「・・・平成28年度と比較すると、老人クラブは「参加していない」が・・・」とある。 「・・・は・・・」と「・・・に・・・」1文字違いで文書の意味が全く異なってくる。 老人クラブは「伸ばそう！健康寿命」「担おう！地域づくりを」をメインテーマとし、「健康」「友愛」「奉仕」活動を地域密着型で積極的に実施しており、「社会参加に参加していない」という文言には検討をお願いしたい。	文言につきましては、ご提案のとおり記載内容に修正いたします。 ⑦社会参加の状況の1行目 「・・・平成28年度と比較すると、老人クラブに「参加していない」が・・・」
坂本委員	資料1 18ページ	⑦社会参加の状況の1行目 「参加していない」と判断された経過を教えてください。	「参加していない」という文言につきましては、令和元年度に実施した介護予防・日常圏域ニーズ調査アンケートの地域での活動について参加の頻度を問う項目において、回答項目「参加していない」と回答した方の割合について平成28年度と比較して記載しております。 なお、質問および回答項目につきましては、以下のとおり、国が示しているものです。 質問：地域での活動について・どのくらいの頻度で参加していますか。 回答：週4回以上・週2～3回・週1回・月1～3回・年に数回・参加していない
井手委員	資料1 66ページ	Ⅱ 地域ケア会議の推進 【今後の課題・問題点】の1行目～3行目 「「地域個別ケア会議」では・・・役割分担ができていない場合もあり、助言をうまく活用できていない事例もあります」とある。これは、内部的な問題なのか、それとも互助・共助の協力が得られないとのことなのか。	内部的な問題です。地域ケア個別会議を本格的に実施し2年目となりますが、専門職の方々よりいただいた助言について、すべてをうまく高齢者に伝えきれていない、助言を有効活用できていない場合があります。そのためには、会議終了後、当事者の関係者（プランナー、介護事業所、地域包括支援センター等）において、役割分担を行い支援する必要があります。
井手委員	資料1 67ページ	下図について ①地域ケア個別会議の②ネットワーク構築機能については、どこまで進み、どのような課題があるのか。	地域ケア個別会議では、地域包括支援センターと参加していただいている専門職とのネットワークは年々深まっていると感じております。（例：会議で検討したケース以外でも、プランナーが日ごろ受け持つケースで服薬管理方法等について専門的知見が欲しいときにケース本人のかかりつけ薬局でなくても相談し助言をいただける体制が整ってきました） 高齢者を包括的に取り巻く関係機関や地域の関係者とは今後も様々な会議体でネットワークの構築（相談体制）を継続していく必要があります。